



ふくい

市議会だより

No.217

令和2年5月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



3月

定例会

(2月21日～3月24日)

市長提出の議案56件、報告2件を
審議しました

主な議案は2ページ

審議結果は10～11ページ

請願2件、陳情1件を審議しました

審議結果は11ページ

議員提出議案1件を審議しました

審議結果は11ページ

議員24人が一般質問を行いました

詳細は4～9ページ

委員会審査

3ページ

予算特別委員会

9～10ページ

↑ 3月定例会と桜の開花

令和2年3月定例会では、令和2年度当初予算をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策などについて多くの議論が交わされました。また本会議最終日には、2期8年の間、市政発展に尽力してこられた山田義彦氏から副市長退任の挨拶がありました。

3月定例会閉会後の翌25日、観測史上最も早く福井の桜が開花し、春の訪れを告げました。

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10～11ページに掲載しています。

令和2年度当初予算

本市の当初予算は、福井市財政再建計画に掲げる取組を着実に実行することを基本に、第七次福井市総合計画に掲げる将来都市像と市長ビジョン「希望と安心のふくい」の実現を目指す予算です。

予算編成に当たっては、社会保障関係経費や公債費等の義務的経費が高い水準で推移する中、企業収益の減少や税

率の引下げの影響等による市税の減収が見込まれることから、財源確保については、非常に厳しい状況となりました。そのため、ふるさと納税をはじめとしたあらゆる歳入の確保に意欲的に取り組み、将来を見据えた財政健全化の堅持にも配慮し、「新幹線開業対策」や「地域の活力強化」、「未来への投資」に重点を置き編成したものです。

(各会計予算は左記の表参照)

会計区分	予算額
一般会計	114,808,000
国民健康保険	22,195,000
国民健康保険診療所	2,900
後期高齢者医療	3,775,000
介護保険	26,527,000
母子父子寡婦福祉資金貸付	4,100
競輪	13,975,000
宅地造成	757,000
中央卸売市場	741,000
駐車場	73,000
集落排水	835,000
地域生活排水	193,000
福井駅周辺整備	0
ガス事業清算特別会計	8,438,000
下水道事業	19,817,000
ガス事業	0
水道事業	7,640,000
簡易水道事業	613,000
合計	220,394,000

特別会計

企業会計

【予算のポイントとなる事業】

- ① 快適に暮らすまち
 - ・市街地再開発事業等支援事業
 - ・第2次福井市都市交通戦略策定事業
 - ・下水道整備事業
- ② 住みよいまち
 - ・地域の未来づくり推進事業
 - ・2人っ子応援プロジェクト事業
- ・循環型社会づくり支援事業
- ・消防庁舎建設事業
- ③ 生き活きと働くまち
 - ・森林環境譲与税関連事業
 - ・テキスタイルイノベーションプロジェクト
 - ・ふくいプロモーション事業
- ④ 学び成長するまち
 - ・名勝養浩館庭園整備事業
 - ・学校体育館照明LED化事業
 - ・東京オリンピック・パラリンピック関連事業

令和2年度補正予算

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受ける市内中小企業者の経営安定化を図るため、制度融資利子補給金として3,600万円を増額するもので、補正後の一般会計予算額は、1,148億

4,400万円となり、全会計で補正後の予算額は、2,204

億3,000万円となります。

令和元年度補正予算

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る学校臨時休業に関連した放課後児童会及び放課後児童クラブの開所に対応するため5,476万1,000円を増額するもので、補正後の一般会計予算額は、1,072億6,261万1,000円となり、全会計で2,074億420万5,000円となります。

条例

○福井市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
生活困窮者等の自立を促進するための生活困窮者自立支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い、無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定めるものです。

○福井市動物愛護管理員設置条例の制定について
動物の愛護及び管理に関する法律の一部改正に伴い、動物愛護管理員を設置するものです。

○福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の全部改正について
福井市少年自然の家の管理及び運営について、指定管理者制度を導入するものです。

○福井市自動車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について
福井市本町通り地下駐車場の使用料を利用料金に変更するとともに、その他所要の規定の整備を行うものです。

市会案(議員提出議案)

○福井市議会委員会条例の一部改正について
行政機構の整備に伴い、建設委員会の所管から「下水道部」を削るものです。

人事案件

○人権擁護委員

令和2年6月30日をもって任期満了となる佐藤辰弥氏、植山佳子氏、茂呂信吾氏を引き続き同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。



委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(日程順に掲載)

観光振興・歴史文化活用対策特別委員会

《本市の観光振興や歴史文化の活用のための取り組みについて》

提 本市の観光振興や歴史文化の活用のための取り組みに関し、これまで開催しました委員会並びに協議会の中で、委員から出された意見等を取りまとめ、理事者に、効果的なプロモーション活動・歴史文化等の観光資源を生かした広域観光周遊ルートの設定・坂本龍馬を生かしたプロモーション活動の3点について提言を行った。

総務委員会

《福井市市税賦課徴収条例等の一部改正》

問 入湯税の課税免除の適用要件として、大規模災害

極め、今後の予算執行において適切に対応を図らなければならないと考えている。

建設委員会

《特急「サンダーバード」「しらさぎ」存続のための協議を県に求めること》

意見 特急存続について県は国やJRと既に協議をしており、杉本知事は年内をめどに存続可否の方向性を出したいとの考えを示しているため、市議会として改めて県に協議を求める必要はなく、現在行われている協議の推移を見守るべきであるとの意見や、大阪までのフル規格での早期全線開業や敦賀駅での乗換えの利便性向上を図ることに目を向けていくべきであるとの意見が出された。

《市街地再開発事業等支援事業》

問 今後、事業を進めていく中で、さらに事業費が膨らむことも想定されるが、その場合には市の補助額も増えることになるのか。

答 見直しは何度もあつてはならないものだが、今後、社会情勢などが大きく変動する

ことも考えられるため、その際には改めて協議し、判断していきたい。

要望 多額の税金を投入することになるため、市としても適宜、指導・助言を行うなど、事業に積極的に関わり、事業者と市の双方が、また市民が納得のいく形で事業を進めていってほしい。

経済企業委員会

《福井野外趣味活動施設の設置及び管理に関する条例の廃止》

問 鷹巣荘の民間譲渡に伴い野外趣味活動施設を貸し付けることであるが、事業者は施設全体としての方向性をどのように考えているのか。

答 貸し付けを行うのは鷹巣荘第2駐車場の部分のみであり、この場所は引き続き鷹巣荘の駐車場として利用すると事業者から伺っている。スポーツセンターとフィッシングセンターは今後も市が管理することになるが、使用を休止してからも相当の年月が経過し、老朽化も進んでいる。財政再建計画の期間中

あり、あまり経費はかけられないが、地元の意見も聞きながら、これら2つの施設の活用方法を模索していきたい。

教育民生委員会

《福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の全部改正》

問 現在の運営形態では施設に係る職員の人件費による財政負担が大きいとのことだが、令和3年度からの指定管理者制度導入により、この職員が他部署へ異動しても、市としてはこれまでと同様の人件費がかかるため、制度導入に係る経費の分だけ、かえって財政負担は増えることになるのではないか。

答 施設の職員は他部署に異動するだけであり、その人件費はこれまでと変わらないが、市の定員適正化計画に基づき採用人数等の調整を図ることから、指定管理者制度の導入は、市全体での経費節減につながるものと考えている。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、3月2日から4日までの3日間、24人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

① 奥島 光晴 (一真会) 1 令和2年度当初予算について 2 北陸新幹線福井開業アクションプランについて	② 福野 大輔 (一真会) 1 新型コロナウイルスに関する諸課題について 2 新学校給食センターについて 3 上下水道管の老朽化における対策について 4 防災訓練における子どもの参加について 5 福井フィルムコミッションについて 6 眼鏡産業の振興について	③ 加藤 貞信 (志政会) 1 市長の政治姿勢とビジョン (公約) 実現について 2 ふくい嶺北連携中枢都市圏について
④ 青木 幹雄 (政友会) 1 令和2年度当初予算提案理由説明について	⑤ 酒井 良樹 (市民クラブ) 1 市民の健康管理について 2 放課後児童健全育成事業について 3 福井駅周辺の整備について 4 地域公共交通について	⑥ 下畑 健二 (公明党) 1 新型コロナウイルス対策について 2 第二期福井市子ども・子育て支援事業計画(素案)について 3 福井市文化会館について 4 ふくい型地域商社について
⑦ 八田 一以 (一真会) 1 福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略について	⑧ 藤田 諭 (志政会) 1 全国への福井の魅力発信と福井のファンづくりについて 2 人口減少問題と地域活性化に向けた取組について	⑨ 榊原 光賀 (政友会) 1 競技環境整備によるスポーツ人口の拡大について 2 障がい福祉政策について 3 福井市と近隣市町をつなぐ道路の整備について 4 AIチャットボットについて
⑩ 玉村 正人 (市民クラブ) 1 福井市新学校給食センター等整備基本計画(素案)について 2 学校における新型コロナウイルス感染防止対策について	⑪ 鈴木 正樹 (日本共産党) 1 福井市の財政運営について 2 学校統廃合について 3 会計年度任用職員制度における自治会長の災害対応について 4 消費税10%増税の本市への影響について	⑫ 皆川 信正 (一真会) 1 東村市長の政治姿勢について 2 文化会館機能のフェニックス・プラザへの移転について 3 ふくい桜まつり、福井フェニックスまつりについて 4 ガス事業について 5 研修センターの職業訓練を通じた技術継承の維持について
⑬ 野嶋 祐記 (志政会) 1 新幹線開業に向けたまちづくりについて 2 多言語での情報提供について	⑭ 津田 かおり (公明党) 1 GIGAスクール構想の実現について 2 女性活躍の推進について 3 離婚後の子どもを守る取組について	⑮ 近藤 實 (無所属) 1 未来づくり推進局と副市長について 2 令和2年度普通会計予算について 3 下水道事業会計予算について 4 給与・定員管理に関しての12月定例会の答弁について
⑯ 岩佐 武彦 (政友会) 1 東公園の活用について 2 フルマラソンの取組について 3 農家民泊の拡大について	⑰ 田中 義乃 (一真会) 1 環境政策について 2 中小企業支援について 3 養浩館庭園について	⑱ 菅生 敬一 (公明党) 1 福井市の観光施策について 2 障がい児の教育環境について 3 子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨について
⑲ 今村 辰和 (一真会) 1 福井市財政再建計画について 2 未来を担う子どもたちの教育環境の充実について 3 里地・里山活性化事業について 4 昨年度と今年度の除雪費用の執行状況について	⑳ 片矢 修一 (市民クラブ) 1 福井経済同友会の提言について 2 福井市新・観光振興計画(素案)について 3 危機管理について	㉑ 泉 和弥 (一真会) 1 第2期福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(素案)及び令和2年度当初予算案について 2 テレワーク推進事業について
㉒ 中村 綾菜 (無所属) 1 介護人材不足対策並びに在宅介護による家族への負担軽減について 2 介護施設と保育施設の待機状況一覧及び介護福祉士と保育士の求人状況一覧の公表について 3 若者が活躍しビジネス・イノベーションができるまちについて 4 SDGsの目標達成に向けた取組について 5 自動車関連税制の見直しの影響について 6 新型コロナウイルス対策について	㉓ 寺島 恭也 (一真会) 1 U・Iターン促進政策について 2 地域交通政策について 3 企業誘致について 4 これからの農業について	㉔ 山田 文葉 (日本共産党) 1 子ども医療費などの助成制度について 2 福井市文化会館の今後について 3 介護現場の深刻な人手不足の対策について 4 新型コロナウイルスと政府の姿勢について

問 平成30年度には、財政再建計画の実施に伴い多くの事業が中止や縮減を余儀なくされた。それらの事業を必要としていた市民も多かったことと思うが、令和2年度当初予算において、中止・縮減した事業の復活ではなく、新規事業としてチャレンジみらい予算を計上した理由を伺う。

答 中止・縮減した事業について、令和元年度からの当初予算編成に当たっては、予算計上に至らなかつた事業がある反面、再度予算化されたものや、増額となった事業もある。

今回、少子高齢・人口減少社会が進展する中、北陸新幹線福井開業を3年後に控えた現在の新たな行政需要に、若手職員の柔軟な発想による事業によって対応するため、チャレンジみらい予算を計上した。

質問

チャレンジみらい予算について



おくしま みつはる

奥島 光晴 議員

一真会

一般質問要旨

新型コロナウイルスに関する諸課題について



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

質問

新型コロナウイルスに関して、4月以降の保育施設や小・中学校における対応はどのように考えているのか。

回答

保育施設については、園児や職員の感染が明らかになった場合、当該園を臨時休園し、2つ以上の園で感染が確認された場合、本市全ての園を臨時休園することを想定している。

小・中学校については、児童・生徒、教職員の感染が明らかになった場合、当該学校を臨時休業とする。また、当該児童・生徒に小・中学校にまたがって兄弟姉妹がいる場合、当該学校を含む中学校区内の小・中学校を臨時休業とする。さらに、2つ以上の中学校区で感染が確認された場合、本市全ての学校を臨時休業とする。

休園・休業期間は、概ね2週間程度を想定している。

市長の政治姿勢とビジョン（公約）実現について



かとう さだのぶ
加藤 貞信 議員
志政会

質問

市長のビジョン（公約）の4つの柱実現に向けた意気込みと施策について伺う。

また、森田小学校に増築するプレハブについて、児童数のピークが過ぎるまで使用する考えか。早急に新設するなどの対応が必要である。さらに、学校規模適正化の考えとの整合性について伺う。

回答

ビジョンに掲げた4つの柱を基本方針として、「みんなが輝く全国に誇れるふくい」となるよう、各種施策を推し進めていく。

また、プレハブ校舎の使用については、あくまでも暫定的なものである。今後、学校規模適正化検討委員会の答申を受けて、地域の要望も踏まえながら、速やかに具体的な対応策を講じた

福井に対する市長の思いについて



あおき みきお
青木 幹雄 議員
政友会

質問

これまで市長は、「福井市が全国に発信するもので『これだ』というものはない」といった思いを述べているが、今もそのような考えなのか。

また、最近「愛してやまない福井市」とよく述べているが、本市の何を愛しているのか。

回答

本市には、一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園などの歴史・文化や国内有数の住みよさなど、全国に誇れる強みがある。北陸新幹線福井開業を前に、これらをさらに積極的に全国に発信することで、本市のさらなる認知度向上とイメージアップにつなげていきたい。

また、福井は私の人生そのものであり、生まれ育ったふるさとの全てを愛している。これからも活力と希望に満ちた「誰もが笑顔で暮らせる希望と安心のふくい」となるよう、市民の皆様とともに、スピード感をもって全力で取り組んでいく。

がん検診について



さかい よしき
酒井 良樹 議員
市民クラブ

質問

がんのスクリーニング検査N・NOSEが実用化された。これは体長たった1ミリの線虫が、尿に含まれるかすかながんの匂いを嗅ぎ当て、15種のがんのどれかがあると、早期であっても8割強の精度でがんを判定するものである。この検査の導入についての考えは。

回答

現在、市町が実施する対策型検診として、国のがん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針に実施内容等が定められている。

本市では、この指針に基づき胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診を行っており、N・NOSEについては、今後の国における検討状況を注視し、指針に基づき適切に対応する。

新型コロナウイルス対策について



しもばた けんじ
下畑 健二 議員
公明党

質問

観光業や製造業を中心としてかなりの影響が出ており、政府は緊急対策を講じている。こうした周知も含めて中小企業・小規模事業所を支援する相談窓口を本市も用意するべきだが、見解は。

回答

本市では、平素から金融相談員を窓口配置し、市内中小企業を対象とした経営相談を実施している。

日々更新される新型コロナウイルス関連の国、県、関係機関による支援策についても情報収集し、引き続き窓口での情報提供を行っていく。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

**福井市まち・ひと・しごと
創生人口ビジョン・総合
戦略について**

質 問

第1期総合戦略は、3月末に終了するが、人口減少に歯止めがかからなかったのは残念である。しかし、4月からの第2期総合戦略では、東村市長が熱き心で先頭に立つと約束された。第2期の5年間で人口減少に歯止めをかけていただきたい。

回 答

本市の強みである住みよさや、優れた子育て・教育環境、安定した雇用などを生かした取組のほか、北陸新幹線福井開業を契機とした人の流れづくりなどを政策パッケージとし、第2期総合戦略案を取りまとめた。戦略に定める各種施策を粘り強く、着実に推進するとともに、その効果を検証し、しっかりと対応していくことで、本市の人口減少に歯止めをかけていく。



ふじた さとし
藤田 諭 議員
志政会

人口減少問題と地域活性化に向けた取組について

質 問

地域の活力強化、魅力創出を図るためには、地域活性化に向けて各地区の特色を生かした住民主体のまちづくりをさらに進めることが必要となるが、どのように取り組むのか。

回 答

本市では、地域の未来づくり推進事業を実施し、各地区が魅力発信のために取り組む事業、複数地区で広域的に取り組む事業及び若者が主体となり地域の活性化に取り組む事業を支援している。また、令和元年度から各地区において地域未来づくりビジョンの策定を支援しており、令和2年度は、ビジョンの実現に向けて「地域の夢を叶える未来づくり創造ファンド事業」を創設し、地域の独自性を生かしたまちづくりを一層支援していきたい。



さかきばら みつよし
神原 光賀 議員
政友会

A-1チャットボットについて

質 問

A-1を活用した問い合わせ自動応答サービス（A-1チャットボット）を導入し、市民や本市を訪れる方たちの利便性の向上を図るとのことだが、具体的にどのようなものなのか。また、今後どのような分野で活用していくのか。

回 答

休日や夜間の問い合わせニーズに対応するため、A-1チャットボットを導入し、パソコンやスマートフォンからの窓口手続に関する問い合わせに対応したいと考えている。事前に手続の窓口や内容を確認できることで、効率化や所要時間の短縮が見込まれる。今後、北陸新幹線福井開業により、外国人観光客等の増加が予想されるため、A-1チャットボットを多言語化し、交通機関やグルメスポット等の観光情報を提供していきたい。



たまむら まさと
玉村 正人 議員
市民クラブ

福井市の新学校給食センターはどうなるの？

質 問

過度に大規模化した1か所の学校給食センターで運営することは、学校給食の安全・安心の確保の観点から非常に危険である。リスクを減らすために、建設費は要するが、福井市学校給食センター等整備基本計画（素案）で示されているパターン3-1-2の2センター分棟にすべきと考えるがどうか。

回 答

パターン3-1-2については適当な候補地が見つからなかったことに加え、1か所の給食センターで調理するパターン3-1と比較して建設費がさらに10億円以上必要となる。また、学校給食で発生した食中毒の多くは、単独調理校で発生しており、管理する調理場数を減らすことで、食中毒の発生リスクはより低くなると考えている。



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

自治会長の災害対応とその補償について

質 問

現在、自治会長は公務員の一員として災害対応への協力を市が委嘱し、災害活動時のけが等は補償される。しかし、令和2年4月からは一人となり、災害時の協力を委嘱しなくなり行政からの指示がない場合は補償されない。市として災害対応への協力を委嘱し補償の方法も検討すべきではないか。

回 答

公務員ではなく、公務災害の対象とならない自治会長に対し、災害時の対応といった業務を委嘱し、責務とするのは過重であることが今回の委嘱業務変更の大きな理由の一つであるため、従来委嘱していた任務を改めて委嘱することは考えていない。なお、自治会長が自主的に消防団などと連携して防災活動に従事し、被災した場合には、消防法に基づき、市による災害補償の対象となる。



文化会館機能のフェニックスプラザへの移転について

質問

フェニックス・プラザに文化会館の機能を移すとのことだが、市民や関係団体等への説明は。

築34年のフェニックス・プラザを文化会館のような形で何年程度使用する予定なのか。また、リニューアルが必要と考えるが、見解は。

回答

フェニックス・プラザの利用料金は文化会館より高額なため、学校や文化団体の負担軽減について検討し、舞台芸術活動が継続できるように必要な措置を講じるとともに、文化団体や市民の皆様丁寧に説明していく。今回の機能移転は新文化会館が整備されるまでの措置と考えており、現時点では大規模な改修は行わず、必要に応じて修繕を行っていく。

フェニックス・プラザ自体は、あと16年以上は使用していきたいと考えている。



新幹線開業に向けたまちづくりについて

質問

県都のまちづくりに関する県と市の合同プロジェクトチームは、今後どのように協議が進められていくのか。また、県や経済界等との連携について具体的な考えはあるのか。

福井城址に関する懇話会ではどのような話し合いがなされるのか。

回答

今後は市及び県の関係部長等による協議だけでなく、市街地再開発事業や観光分野に関することなど個別の課題ごとに関係者で協議を行い、実質的な調整を図っていきたく考える。また、県や経済界等との連携については、これまで同様、まちづくり会議などを通じて連携を図っていく。

福井城址に関する懇話会については、主にお堀の内側を検討対象とし、令和2年度から2年間で具体的な提言を取りまとめる。



GIGAスクール構想の実現について

質問

小・中学校において、子どもたちに1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワーク環境を早急に整備する必要がありと考えるが、どのようにして実現する計画なのか。

回答

令和2年度に小・中学校内の配線やネットワーク機器を更新し、大容量の通信ネットワーク環境を整備するとともに、全教室で無線LANが利用できる環境を構築する。また、端末については、小学校は令和3年度と4年度に、中学校は令和5年度に整備する予定となっている。



未来づくり推進局と副市長について

質問

未来づくり推進局を20代、30代の若い職員で構成する組織とし、局長には40歳未満の職員を抜擢、また、副市長に女性を登用すると、全国で話題になり、若い人の福井移住促進や女性の転出抑制につながると考えるがいかがか。

回答

未来づくり推進局には、斬新で自由な発想を市政に生かせるよう意欲ある若手職員を積極的に配置している。また、局長は豊富な知識と経験に加え、高度なマネジメント能力などが求められることから、職歴や適性等を総合的に評価した上で人選している。

副市長は、市長の補佐や一般職員の担任する事務を監督する者であるため、性別に関わらず、その職にふさわしい資質を備えた方を選任することが重要であると考えている。



東公園の活用について

質問

市営球場跡地の東公園を福井市文化会館の移転建て替え場所としている計画を見直し、福井駅周辺のにぎわいづくりを目的に郊外から中心市街地へと人を呼び込む集客施設として再整備してはどうか。

回答

平成25年3月に策定した県都デザイン戦略において、足羽川沿いの東公園に親水空間を整備することとしており、再整備に当たっては足羽川や足羽川緑地等との一体性や連続性を踏まえた検討が必要になると考えている。

しかしながら、足羽川については足羽川ダムの建設工事中であり活用環境が整っているとは言い難く、あわせて新文化会館整備事業にも影響するため、東公園を取り巻く状況を整理した上で、市民にとつてよりよい形となるよう検討していきたいと考えている。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



たなか よしのり
田中 義乃 議員
一真会

養浩館庭園について

質問

3年後の北陸新幹線福井開業に向けて、養浩館庭園周辺での飲食や休憩所、お土産等売店など、おもてなしの拠点づくりが必要である。

近隣には行政所有の土地や建物が数件あるが、これらの施設を活用した対策ができないか。

回答

現在、養浩館庭園では観光客をおもてなしするため、敷地内でのお茶席や庭カフェなどの魅力向上事業を開催している。

拠点づくりの重要性についても認識しており、今後周辺土地活用も含め、地域住民や関係団体とも協議をしながら、市としてどのような対応ができるかを研究していく。



すごう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

福井市の観光施策について

質問

県は、令和2年度当初予算で北陸新幹線開業に向けたキャッチコピー・ロゴ制作とプロモーション事業に、それぞれ1,400万円、6,900万円を計上している。一方、市も同様の福井イメージ戦略として3,300万円を計上している。市と県がそれぞれに行ったのでは統一感がなくなり、互いの足を引っ張り合うのではないか。県の事業との連携をどう考えているのか。

回答

本市で制作するロゴやキャッチフレーズは福井市全体をイメージしたもので、福井の魅力を一目で連想できるようにすることを目的としており、開業後も長期的に使用していく。一方、県が制作するロゴ等は、新幹線開業アピールや開業に向けた機運醸成を目的とするものであり、目的に合わせて県のロゴ等も活用していく。

県とは情報交換を密に行っており、首都圏での情報発信など、しっかりと連携しながら取り組んでいく。



いむら しんかず
今村 辰和 議員
一真会

昨年度と今年度の除雪費用の執行状況について

質問

令和元年度の除雪作業の出勤回数と凍結防止剤の散布回数は、

雪がなく、除雪作業がなくても必要な経費はあるのか。それはどのようなもので、幾らぐらいなのか。また、執行されなかった予算は、どのように活用されるのか。

回答

令和元年度の除雪作業の出勤回数は、山間部の限られた路線での部分除雪が1回のみであり、凍結防止剤の散布状況は、散布日数24日、散布回数30回である。(令和2年2月25日現在)

除雪作業が行われなくても必要な経費は、除雪機械のリース料や借上料、消融雪設備の点検費用などがあり、執行予定額は、約3億2,800万円である。なお、執行されず不用額となった場合は、翌年度へ剰余金として繰り越した上で、補正予算の財源等として活用する。



かたや しゅういち
片矢 修一 議員
市民クラブ

危機管理について

質問

昨今、台風や水害などの自然災害が頻繁に発生している中、6月に行われる総合防災訓練は、水害を想定した訓練にすべきではないか。

また、障害者の方にも積極的に参加を促し、健常者と一緒に取り組む、実効性のある訓練にすべきではないか。

回答

台風やゲリラ豪雨による風水害等が多発していることから、風水害や土砂災害を踏まえた訓練も重要であると考えており、土の作りなどの水防訓練も取り入れている。今後は、自主防災組織等と水害に対応した訓練について協議し、各地区の防災訓練計画を策定していく。

また、障害者には、関係団体を通じ訓練への積極的な参加を呼びかけ、全地区で防災スカーフを活用した避難訓練を行うほか、推進地区では手話通訳者の配置なども行っている。今後より一層、関係団体に障害のある方の参加を促していく。



いずみ かずや
泉 和弥 議員
一真会

テレワークの推進について

質問

本市に人を呼び込む施策として、サテライトオフィスやテレワークスペースの整備は有効と考える。子育て世帯における仕事と子育ての両立支援やワーク・ライフ・バランスの向上を目的に、法人がテレワーク拠点施設を開設する際に要する費用に対し、補助金を交付できないか。

回答

現在、テレワーク拠点の開設に対する補助はないが、中心市街地において、企業が空きオフィスを賃借してオフィスを新設する場合に、福井市中心市街地オフィス立地助成金として、家賃補助や雇用奨励金を活用することが可能。市内中心部にテレワーク拠点やサテライトオフィス等が整備されれば、中心市街地のにぎわいや都市部から地方への人の流れの創出にもつながるものと考えているため、テレワーク拠点の開設に対する補助について、今後検討する。

在宅介護による家族への負担軽減について



なかむら あやな
中村 綾菜 議員
無所属

質問

人生百年時代と言われ、高齢者は年々増加し、要介護認定者は2040年にピークを迎える。介護している家族をしつかりと支えるため、今後どのような取組をするのか。また、介護者の集いの場を活性化させるため、次年度どのような取組をするのか。

回答

在宅介護による家族への負担軽減のため、介護サービスにおいて仕事と介護の両立や余暇時間の確保等、介護者の負担軽減を図っている。介護者の精神的な負担軽減には介護全般について相談できる相談窓口が重要であるため、地域包括支援センターや家族会での無料電話相談の活用を今後も周知していく。また、市内6か所で行っている介護者のつどいは、介護者同士の交流に加え、心身のリフレッシュや介護技術の習得等、介護者のニーズに合った内容となるよう工夫し、さらに充実していく。

U・イーターン促進政策について



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

質問

奨学金制度は多くの学生の学業を支えているが、奨学金の返済がでず、自己破産される方も多い。こうした状況の中で、U・イーターン推進のため、奨学金の優遇制度を考えているのか。また、それ以外の取組は。

回答

県は人手不足が懸念される業種へのU・イーターン就職者を対象とした奨学金返還支援事業を実施しており、民間団体の奨学金制度等もあることから、本市独自の奨学金制度は考えていない。移住・定住促進に向けた本市の取組としては、若年女性の転出超過の改善に向けて、U・イーターン就職のための面接等にかかる交通費や引っ越し費用を助成している。また、県と連携し東京圏からの移住者に支援金の支給を行っている。このほか農林水産業におけるU・イーターン就業に向けた見学補助金等による支援もしており、これらの取組を総合的に推進していく。

新型コロナウイルスの対策について



やまだ ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

質問

学校を休校にしたが児童館などのほうが狭く、感染リスクが上がる。共働きの多い福井では子どもも家族も困っており、柔軟な対応が必要である。やむを得ない児童は学校で対応すべきではないか。また、公園などへの外出も控えるよう放課後児童クラブに指導しているが不適切ではないか。

回答

学校の臨時休業により結果として放課後児童クラブ等が子どもの受け皿となった。しかし、国が企業への経済対策を打ったことで児童クラブの受入数は激減している。今後はできるだけ家庭で子どもを見られるよう考えていく必要があるが、児童クラブ等での受け入れに支障が出る場合には、学校施設の活用についても視野に入れていくところである。また、公園などへの外出を制限したとの報告は受けていないが、今後の様子を見ながら学校体育館の開放などを考えていく必要がある。

予算特別委員会

各党派における主な質疑内容を紹介します。

体となって取り組むことが必要不可欠だと考えている。

一真会

- 皆川 信正 見谷喜代三
- 堀江 廣海 田中 義乃
- 八田 一以 福野 大輔

志政会

- 加藤 貞信 野嶋 祐記

核市

問 本市は昨年4月に中核市に移行し、市保健所が感染症の予防及び蔓延防止といった感染症対策を担うことになったが、こうした感染症対策に直面し、県から事務移譲を受けたメリットをどのように生かしているのか。

答 中核市になったことにより、国から新型コロナウイルス感染症対策等の情報が直接本市に届き、市民への周知や庁内での情報共有等、迅速な対応を取ることが可能となった。また現在、市保健所に帰国者・接触者相談センターを開設しており、市民からの相談に直接応じることができている。一方、新型コロナウイルス感染症は世界的に広がりをみせていることから、その感染防止対策については市単位ではなく、国や県と

福井市水道事業ビジョン2020とガス事業関連

問 民間譲渡に伴い空きスペースとなる企業局庁舎1階のガスショールームの活用について、運営事業者を募集したとのことだが、どのような応募状況となっているのか。また、今後どのように事業を進めていくのか。

答 1月24日から2月26日まで募集を行い、4者からの応募があった。今後、3月27日に2名の外部委員を含む選定委員会においてプレゼンテーション審査を実施し、契約候補者及び次点候補者を決定する予定である。その後、契約候補者と契約締結に向けた詳細協議を行い、4月下旬をめどに契約を締結し、5月からの貸付開始を目指したいと考えている。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。

政友会

青木 幹雄 岩佐 武彦

○福井の魅力発信とファンづくり

問 福井のイメージ向上に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答 県外の方から福井の人は人情味が厚く、心が温かいというような評価を受けている。この福井ならではの人情味厚い人間性をはじめとした、様々なあふれる「福」を来訪者へおすそわけし、福井を感じていただきたいという思いから、福井のイメージを「福」とした。来年度は、この「福」が県外の方により分かりやすく伝わるようなキャラクターグッズやロゴ等を制作し、戦略的かつ効果的に情報を発信していく。

市民クラブ

片矢 修一 村田 耕一

○高度情報化時代への対応

問 市民サービスの向上と職員負担軽減に向け、全国の一部自治体では人工知能が導入され始めているが、本市としては今後どのように取り組んでいくのか。

答 令和2年度からは、窓口への問い合わせに人工知能が対応するAIチャットボットや、ふくい嶺北連携中枢都市圏事業において定型業務を自動化するRPAを導入し、市民サービスの向上や事務の効率化を図る予定となっている。また今後は、北陸新幹線福井開業に向けて、観光案内等に人工知能を活用することについても調査研究を進めていきたい。

公明党

下畑 健一 津田かおり

○環境問題

問 学校の臨時休業に伴い給食も休止となる中、使用できなくなった食材を廃棄せずに活用したという事例が全国では見受けられるが、本市ではどのように対応したのか。

答 本市では2月28日に、3月2日の給食終了後からの臨時休業を決定したことから、給食を休止する日までの期間が4日間あり、ほとんどの食材の納入を止めることができた。なお、納入を止めることができなかった食材については、4月までの保存が不可能なものは市内の障害者就労支援事業者等へ寄付し、賞

味期限の長いものは4月以降の給食に使用する予定で調整している。

日本共産党

鈴木 正樹

○子ども医療費助成の高校卒業までの拡大

問 県が子ども医療費の助成年齢を中学校3年生まで拡充することに伴い、本市では年間約1億円の歳入増が見込まれる。また、本市以外の嶺北各市は、助成対象年齢を高校卒業まで引き上げる。今後、本市でも同様の引き上げを補正予算等で対応することについてどのように考えるのか。

答 医療費に対する支援は非常に重要な施策だと考えているが、財源の確保が厳しい状況の中、歳出が毎年増えていくことが予想されるこのような事業を実施することは、見通しをしっかりと持たないと困難である。本市としては、限られた財源の中で優先順位をつけながら施策を展開する中で、まずは少子化対策につながる施策に取り組むべきと考えている。

議案等の審議結果

(3月定例会)

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第1号議案	令和2年度福井市一般会計予算	3月24日 原案可決	●
第2号議案	令和2年度福井市国民健康保険特別会計予算	〃 〃	●
第3号議案	令和2年度福井市国民健康保険診療所特別会計予算	〃 〃	●
第4号議案	令和2年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	〃 〃	●
第5号議案	令和2年度福井市介護保険特別会計予算	〃 〃	●
第6号議案	令和2年度福井市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	〃 〃	●
第7号議案	令和2年度福井市競輪特別会計予算	〃 〃	●
第8号議案	令和2年度福井市宅地造成特別会計予算	〃 〃	●
第9号議案	令和2年度福井市中央卸売市場特別会計予算	〃 〃	●
第10号議案	令和2年度福井市駐車場特別会計予算	〃 〃	●
第11号議案	令和2年度福井市集落排水特別会計予算	〃 〃	●
第12号議案	令和2年度福井市地域生活排水特別会計予算	〃 〃	●
第13号議案	令和2年度福井市ガス事業清算特別会計予算	〃 〃	●
第14号議案	令和2年度福井市下水道事業会計予算	〃 〃	●
第15号議案	令和2年度福井市水道事業会計予算	〃 〃	●
第16号議案	令和2年度福井市簡易水道事業会計予算	〃 〃	●
第17号議案	福井市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃 〃	●
第18号議案	福井市動物愛護管理員設置条例の制定について	〃 〃	●
第19号議案	福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の全部改正について	〃 〃	●
第20号議案	福井市自動車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃 〃	●
第21号議案	福井市特別会計条例の一部改正について	〃 〃	●
第22号議案	福井市公共施設等維持管理基金条例の一部改正について	〃 〃	●
第23号議案	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	〃 〃	●
第24号議案	福井市附属機関設置条例の一部改正について	〃 〃	●
第25号議案	福井市行政財産の使用料に関する条例の一部改正について	〃 〃	●
第26号議案	福井市総合支所設置条例の一部改正について	〃 〃	●

議会日誌 (令和2年1~3月)

1月21日	全国市議会議長会 正副会長会議 (～22日) (松山市)
23日	福井県市議会議長会議員研修会
24日	議会運営委員会
29日	観光振興・歴史文化活用対策特別委員会
30日	全国競輪主催地議会議長会役員会 (～31日) (岐阜市)
2月3日	福井県市議会議長会 総会
4日	全国市議会議長会 相談役員会 (東京都)
5日	// 部会長会議・理事会・評議員会 北信越市議会議長会 理事会 (東京都)
6日	観光振興・歴史文化活用対策特別委員会視察 (東京都)
7日	// (高知市)
12日	全国市議会議長会 正副会長被災地視察 (～14日) (いわき市他)
17日	議員全員協議会、議会運営委員会 福井県後期高齢者医療広域連合事務組合議会臨時会
18日	全国市議会議長会 正副会長会議
19日	福井県市町振興協会理事会、福井県自治会館組合議会、 福井県市町総合事務組合議会
20日	福井坂井地区広域圏事務組合議会懇話会
3月26日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、 第177回定例会
30日	福井県後期高齢者医療広域連合事務組合議会定例会

3月定例会

2月21日	本会議
25日	議会運営委員会
3月2日	本会議 (一般質問)
3日	本会議 (一般質問)
4日	本会議 (一般質問)
5日	総務委員会、建設委員会
9日	教育民生委員会、 経済企業委員会
17日	予算特別委員会
18日	予算特別委員会
19日	議会運営委員会
24日	議員全員協議会、本会議



委員会活動報告

特別委員会で、県外の先進地を視察しましたので報告します。
次の視察先のほか、東日本連携センター（埼玉県さいたま市）、
まるごとにつぼん（東京都台東区浅草）を見学しました。

委員会名	視察日程	視察先	調査事項
観光振興・歴史文化活用 対策特別委員会	令和2年 2月5日(水)～7日(金)	富山県富山市	北陸新幹線開業前の観光誘客に向けた取組について
		高知県高知市	首都圏等における観光プロモーションについて

編集後記

3月定例会は、新型コロナウイルス対策についての質問が多くありました。そして打てる手は全て打つという体制を取っています。学校の休校やマスク不足等、感染に皆がビリピリしている中で、高校や大学など受験を迎える生徒さん・親御さんの心配やご苦労は、ひとかたならぬものがあったと思います。この号が発刊される頃には、新型コロナウイルスも終息し、受験生の皆さんが新しい進路を晴れやかに歩まれていることを心から祈ります。(津田・山田)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回（3・6・9・12月）開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

一般質問の録画映像を各議員ごとにスマートフォンやタブレット端末で見ることができます。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写真欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。



お問い合わせ

議会事務局 庶務課 **0776-20-5506**

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算、観光振興・歴史文化活用対策

議員全員協議会

次回は
6月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します



市議会HPはこちら

福井市議会 日程

検索